

●第11回まちづくり町民会議
もっと、もっと、この町を元気にしたい
第2期まちづくり町民会議、2年間を振り返る

まちの話題やこれからのまちづくりなどについて話し合う、日野町まちづくり町民会議（生田公恵会長）が3月3日、町役場で開かれました。

町まちづくり町民会議の委員任期（2年）の満了となり、現委員では最後の会議となりました。各委員がこれまでの活動を振り返り、次の委員の活躍を期待しました。



防人隊は町内の集落で活躍、さらなる活動が期待される

話し合いだけでなく
地域に出かけ活動も

▼まちづくり町民会議で、話し合うだけでなく、防人隊など実践に移せたことは大きい。自分たちも貴重な体験をした。

▼自分の知らないところでさまざまな事業が行われていることを知った。自分たちでできることをやっていきたい。

▼地域の代表として、町のことを考えたことは良い経験になった。また、知り合いが増えたことが、自分にとって大きな喜びになった。

▼何をすることもスピードを持って動きたい。ジゲの防人隊の今後について、日を改めて隊員と相談したい。

▼防人隊隊員を全町民に広げたい。

▼つけもの百人会は、まちづくり町民会議からは独立して動き出している。つけものをとおして、町内に知り合いが増えたことは喜んでいる。

▼まちづくり町民会議が町に対して不満や文句を言う会になってしまっているのではない。また、2カ月に1回の開催では、2年間で12回しかできないので、回数を増やしてはどうか。

防人隊の手によってきれいになった井手



防人隊と地元の人とのつながりができた

▼まちづくりを考える中で、葬祭会館の建設、ソフト企業の誘致、農地レンタルの実施、環境に関する学習など、いろいろと意見交換し勉強になった。今後は、町民農園や都会との農村交流など、この町を生かしたことを研究していきたい。

▼来年度も元気なまちづくり交付金を活用したい。真住公民館は、地域内で地域活性化を考えている。活動としてソバを収穫した後にナタネを栽培し、春に収穫する。ナタネ油も宣伝が足りない。

▼地産地消は、生産者、JA、行政が連携しないと進まない。連携しないと耕作放棄地の増加につながる。今、手を打たないといけない。

▼会議のあり方として、前の会議で課題を決め、次の会に集中審議してはどうか。会を開くだけになってはいけない。

▼防人隊で地域に出かけて活動したことで、人と人のつながりができたことは成果である。

▼少しでも町のためにならないかと日々考えている。任期中はごみ問題に取り組み、婚活事業では働く場や住むところが必要と提言した。先進地視察で訪れた川根振興協議会を参考にしても良いと思う。

また、町ではラフティングや宝仏山登山といったアウトドアを楽しむことができる。連携してもいいのではないか。

地域のリーダーとなってまちづくりを
第3期日野町まちづくり町民会議委員を募集

まちづくりについて、みんなで考えてみませんか。現在、第3期目の日野町まちづくり町民会議委員を募集しています。

- 【募集】 各自治会から1名推薦をお願いします。
- 【任期】 2年（平成23年5月1日～平成25年3月31日）
- 【要件】 日野町在住の18歳以上で、まちづくりに関心と熱意があり、地域のリーダーとなって問題解決に向けて積極的に取り組む人（性別は問いません）
- 【役割】 定例会に出席し、または各地区において住民との話し合いの場を持ち、地域の課題・問題点、町全体で取り組むべき課題・問題点について意見交換を行い、解決策について議論する。
- 【その他】 委員は無報酬とする。

《問合せ》 役場企画政策課
 担当 三好達也（電話 72 - 0332）

生ごみ処理を行う業者を視察



生ごみの処理過程を見学



リサイクルプラザにてごみの処理について学ぶ